

安土町地域自治区長便り

NO. 18 (平成 23 年 5 月 16 日)

発行 安土町地域自治区事務所
(安土町総合支所)

< 体育協会会長に光定建司氏選出 >

4月29日(金)に安土地域の体育協会総会が開催され、44名が出席し、会長・副会長の選出と、今年度の事業計画・予算が決まりました。



▲体育協会の会長・副会長のあいさつ



▲安土体育協会総会

< 近江八幡市安土町少年補導委員会開催 >

4月26日(火)に補導委員会の総会が開催されました。今年度の事業計画が話し合われました。この日は「子ども安全リーダー」との合同会議もありました。



▲近江八幡・竜王少年センターのあいさつ

< 安土地域青少年育成区民会議の役員会 >

4月27日(水)に開催され、総会に向けての協議が行われました。



また、同日、人権尊重のまちづくり推進委員会の役員会も開催されました。

< 自治会長連絡会の合同部会 >

4月29日(金)に、自治会長連絡会合同部会が開催され、昨年度大変お世話になった役員から引き継ぎを受けました。また、新たに安居会長より各部会員に委嘱状が渡されました。



▲前役員のアいさつ



▲委任状の交付

今年度の組織運営部会長には坪田文雄さん(上出区長)、まちづくり研究部会長には柴垣源二さん(十七自治会長)が選ばれました。

<あづち信長まつりの部会>

5月5日(木)に安土町商工会館にて武者行列の役割決めが行われました。この武者行列の武将には、自治会役員が扮することが恒例になっており、信長役は安居会長、秀吉役は熊木副会長、家康役は深尾副会長、勝家役には西村会計が選ばれました。その他の配役はそれぞれ抽選で決まりました。



<戦国の都 安土へ行こう>

この大型連休には、多くの観光客が安土城跡や、信長の館、博物館を訪れました。安土山下の駐車場横のガイダンスでは、「らんまるくん」も、あづち天正使節といっしょになって歓迎していました。



▲観光客とじゃんけんゲーム



▲和舟のお堀めぐりも6年目に

<視点>

- ・ 田んぼに水がひかれ、トラクター、田植機がゆっくりと動く農村風景。きぬがさ山は、山が笑う季節を過ぎ、新緑一色。生命の息吹と瑞穂の国の営みが力強く響く。
- ・ 2か月前に発生した東日本大震災と大津波、それによる原発の事故などの爪痕と復興への報道が続く。会議や式の前に何度も「黙祷」を繰り返したことか。「震災から目をそらすことはダメだ。」「自分に出来ることは何か」と自問しているが、時間と共に気持ちが薄れる自分を顧みる。
- ・ 松島の友人は、この100年、いや1000年に一度の大災害の証言者として見に来てほしいと言う。写真やテレビではなく肉眼で見て「自然の驚異」を、「自然に対しての畏敬の念」を、新たにしてほしいと言う。
- ・ これからまだまだ続く復興への厳しい道のり。救援物資や義援金のこと、政府の対応やいろんな方のコメントから自分が地震や原発について知らなかったことを実感した。一方で、これから新しいまちづくりについての視点から多くのこと、勇気を学ばせていただいた。
- ・ 行政そのものが無くなった地域での隣近所の人々の助け合い、ふるさとへの熱き思い、暴動も起きずこの災害に耐える住民の平常心など、外国のメディアから賛辞の報道がされたように、日本人の底力・誇りを再確認した。
- ・ 安土地域も、合併2年目を迎え、各団体や自治会で今年度の事業計画が協議され、実行に移される。そこでも大事なものは、私たちの意識の変革であろう。
- ・ 「あづち信長まつり」においても、「がんばろう日本」の思いを携えて、自分達の地域の伝統的なイベントを、自らの手で発掘させようという熱意に満ちている。
- ・ 安土町総合支所では、市民に近いところでサービスをし、更なる文化・体育を振興しようとして「マリエート」で土日も勤務する体制にした。
- ・ 各種団体においても「学区まちづくり協議会」への設立に向けて、研修会を予定している。
- ・ 「ローマは一日にして成らず」といわれるが、千里の道も一歩からと言われる。
- ・ 安土の地域の安土の活気あるまちづくりへの一歩を、安土の方々と汗と知恵を出し合って創り上げていこうと思う。